

| 特集 | あの工場では何をどうやって作っているの!?

# OGBS的 工場見学 II



| トrendナビ | 小型化・高生産性・低ランニングコスト・高速化が止まらない

## 次世代ゲームプリンター出揃う

| 特集 | どんなマシンが製法の主流なのか? UVプリンターは複数台保有?

## 2018年度版 OGBSの設備保有状況





123 川口工場では各種のデジタル機器を駆使したオンデマンドの特殊印刷がおこなわれている。転写紙やインクは世界中から最適なものを厳選し、自社独自のカラープロファイルで印刷するため画質や発色に優れた製品を生み出せる。品質認証のISO9001も取得。注文ごとにバーコードを付けて工程管理をおこない原稿間違いや配送ミスを防いでいる。本社工場ではバッド印刷の設備を有し、UVインクが乗りやすい素材やプリンターでは賄えない大量注文をこなす。扱い商材の豊富さに加え、アナログとデジタルの両方に対応できるのが強みだ。同社のブランドサイト「cusTAMlab」で、実際の製造風景を動画で公開している。 <http://custamlab.jp/>

板やタペストリーなどの大きなものからスマホケース、マグカップといったグッズまで様々な特殊印刷をおこなうエクスセル・タム。ただプリントするだけでなく、布製品は縫製までおこない、商品パッケージまで内製可能。商品を個包装して個別発送するところまで請ける珍しい下請けメーカーだ。

**パッケージまで作るから小売店は受注するだけ？**

プリント前のブランク商材も在庫しているの、もはや「下請け」と呼ぶのは当て嵌まらないだろう。同社を利用するショップ側は集客と受注さえおこなえば、後はエンドユーザーに届けるところまでエクスセル・タムがやってくれる。この方法なら、小売りと下請けの間で商品が往復する送料がからまないため価格競争力のあるオーダーグッズビジネスができる。実際にこの利点を生かして、大手ECサイトも同社と取引している。

「治具は全て社内ですべて起こし、3Dルーターやレーザー加工機で精密に作っています。当社のスマホケースは対応機種が多さがトックラスですが、それは治具が豊富に揃っているからです。」

それら多数の設備と充実した治具から生み出される製品は、スマホケースに換算すると日産で最大2000個以上にもなる。

**看** 板やタペストリーなどの大きなものからスマホケース、マグカップといったグッズまで様々な特殊印刷をおこなうエクスセル・タム。ただプリントするだけでなく、布製品は縫製までおこない、商品パッケージまで内製可能。商品を個包装して個別発送するところまで請ける珍しい下請けメーカーだ。

同社は、今回取材した川口工場（埼玉県川口市）以外に本社工場（同・草加市）を有しているが、こちらはバッド印刷や布製品の縫製などアナログ的加工が中心。対して川口工場では、厚物UVプリンター、ガジェットプリンターなどのデジタル機器を駆使して先進的なオーダーグッズづくりをおこなっている。その川口工場には厚物UVプリンターだけで11台もある。それらが作業台を囲んで唸り上げる様は壮観だ。セットされている治具も多種多様。同社、オンデマンド事業部・統括リーダーの野村雅樹氏によると、

**OGBS的工場見学**

商品の在庫から個別配送まで請け負う特殊印刷のエクスパート

**エクスセル・タム**

主な下請け商材

- ▼ スマートフォンケース
- ▼ 文房具
- ▼ ノベルティ
- ▼ 看板・サイン
- ▼ ウェアプリント全般
- ▼ マグカップ



DATA



(有)エクセル・タム

住所 埼玉県草加市苗塚町 391

TEL 048-923-3300

FAX 048-923-3301

URL <http://www.exceltam.co.jp/>

代表 田形 弘一

創業 平成16年5月20日

従業員数 60名 (グループ全体)



扱い商材

看板・サイン、懸垂幕、のぼり、タペストリー、ウェアプリント全般、タオル、不織布カバン、トートバッグ、文具具、ノベルティ、スマートフォンカバー、IQOSケース、マグカップなど。

所有設備

大判昇華プリンター(最大幅1800mm)×15台、溶剤プリンター×2台、熱転写プレス機(大型輪転式×3台、大型2台、小型1台)、厚物UVプリンター×11台、バキューム式転写機×5台、高精細プリンター×8台、ガーメントプリンター、3Dスキャナー、3Dルーター、レーザー加工機、グロスインクプリントシステム、縫製設備一式など。

下請け価格と納期

※本体と梱包装を含む。税は別途。

iPhone用ハード白ケース(表側面印刷500個)@900円～、iPhone用手帳型ケース(S・Mサイズ500個)@1150円～、スマホリング(ポリカ製500個)@400円～、IQOSケース(ハードタイプ、蓋なし500個)@1600円～、マグカップ(11oz白500個)@700円～。納期は3～5営業日、即日も対応可能(要相談)。

生産能力(日産)

スマートフォンカバー(UVプリント)日産約1500個、同(3Dプリント)日産約600個。

※見学希望の際は必ず電話にて予約してください。  
※繁忙期など都合により見学をお断りする場合があります。



川口工場



本社工場



4



5



スマホケース1つを作るのに何重ものチェックがおこなわれている。6印刷後の商品は、手袋を着用して1点1点画面と照らし合わせて印刷に不備がないかを確認。7バキューム転写機の中の様子も念入りに確認。8プリント後は熱で変形していないか1つ1つ嵌合をチェック。そのため全機種種のモックアップが揃っている。9最後は拭き取りをしながら変色やピンホールなどを目視で検査する。



7



6



9



8

※顧客情報が含まれる画像の一部を修正しています。

はじめは設備の多さに驚いた記者だったが、それに眼が慣れるとスタッフの動きが気になった。3Dプリントの部門では、プリント前のスマホケース全てに丁寧に掃除機をかけ、バキューム転写機の中を何度も懐中電灯でぞき込んでみる。プリント後のスマホケースは1個1個モックアップに装着して嵌合をチェック。梱包前には針の穴を凝視するごとく検品をおこなう。「絶対に不良品を出さない」という気迫が全員の背から立ち上っている。

メーカーの設定のままで  
プリンターを使わない

印刷品質へのこだわりも並大抵ではない。同社ではプリンターをメーカー純正の設定のまま使うこととはしない。独自のカラープロフィールを作り、インク、転写紙、それに最適な商材を世界中から厳選して仕入れる。そのため、同業者から「同じ機械を使っているのにどうしてこんなにキレイなの」と驚かれるそう。そこまで品質にこだわるのは、「オリジナルグッズは、世界でただ1つの製品として消費者が手にします。それが不良だったり色が悪かったりして、お客様の期待を裏切りたくないのです」(野村氏)。